

テーマ4

親子で語る進路・未来

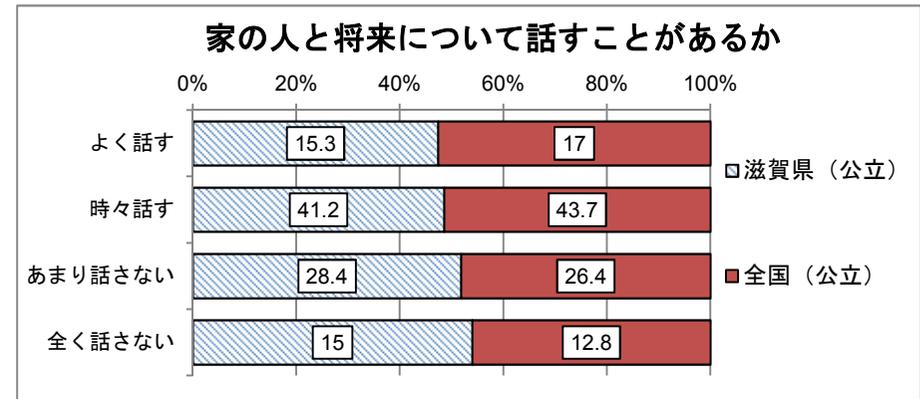
【ねらい】

◇職業体験や社会体験あるいはテーマ3の「地域で育てる」の実践後など、仕事を体験した後に、仕事について親子で語り合い、進路や将来の仕事についてともに考え合っていく契機とする。

【活動の流れと支援のポイント】

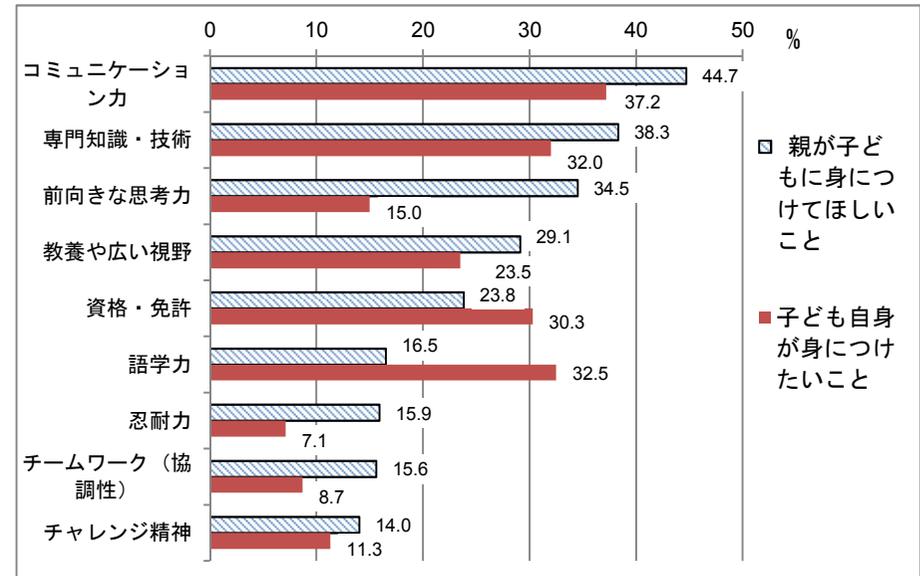
- 親子4組程度でグループをつくり、自己紹介をする。
 - 本音で語り合うために、語り合いの中に出てきた情報については他言しないことを確認する。
 - グループ内に一人進行役を設けてもらう。
 - 親子で互いのよいところを一つ示しながらグループのメンバーに紹介したり、簡単なゲームをしたりして、和やかに話せる雰囲気ができるようにする。
- ワークシート1の子、親それぞれの欄に記入する。
- 記入したことをもとに、子ども（中学生）が発表する。
 - 積極的に相槌を打ったり、発表のあとに質問の時間を設けたりして、中学生が思いを詳しく話せるようにグループ内で支援するよう伝える。
- 記入したことをもとに、親が発表する。
 - 中学生からも質問をしてよいことを伝える。
- 進路や将来の仕事を決めていくとき、何を大切にすればよいと思うか述べ合う。
 - 進路を決めていく上で不安に感じていることも述べてよいことを伝える。
 - 具体的な進路や将来の仕事について考えている場合は、その内容やどのようなことからそう考えたのかを語ってもらう。
- 話し合いの中で参考になったことをワークシート3の欄に書く。
 - 時間に余裕があれば、数人に発表してもらう。
 - 活動のまとめとして右ページの資料を確認しあってもよい。
- 話し合ったメンバーの名前をもう一度確かめ、互いにお礼を言って話し合いを閉じる。

【参考資料】



【平成29年度全国学力・学習状況調査（中学校調査）】

◇親が子どもに身につけてほしいこと・子どもが身につけたいこと



【親子の関係についての意識と実態 2016 明治安田生活福祉研究所】